

あってよかった、 出会えてよかった、 と思われる存在でありたい。

どんなに時代が変わろうとも、どんなに時が経とうとも、 お客さま視点に立ったサービスを追求するとともに、 お客さまの人生に寄り添い、

必要とされる価値と、豊かな暮らしを提供します。

ごあいさつ

平素よりスルガ銀行グループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、皆さまのスルガ銀行グループに対するご理解を一層深めていただくため、「ミニディスクロージャー誌2023 第213 期営業の中間ご報告」を作成しました。

本年4月から6か年の中期経営計画の後半となる第2フェーズをスタートさせ、再成長に向けた取組みを積極的に進めています。この第2フェーズで掲げる経営戦略は、「リテール・ソリューション事業の進化」「持続可能な収益構造の構築」「リスクテイクとリスク分散」の3つで、スルガらしい成長モデルを意識しています。

この第2フェーズを推進する体制として、本年4月に従来の営業本部制を「コミュニティバンク」「ダイレクトバンク」「首都圏・広域バンク」「市場ファイナンス」の4部門に再編し、それぞれのお客さまのニーズに迅速に対応できる態勢を整えました。特定の事業が牽引するのではなく、各事業が権限と責任を持った自律的な事業展開で全体の底上げを目指します。中間期の営業実績は4部門とも前年実績を上回っており、第2フェーズは順調に始動しています。

また第2フェーズでは、株主還元の基本方針を定め、人財育成投

資額や役職者に占める女性社員比率などの目標を設定し、ESGの 観点からは本年4月にサステナビリティ推進委員会を設置しました。SDGsの取組みを積極的に進めるとともに、より一層のコーポ レート・ガバナンスの充実も図ってまいります。

本年5月に資本業務提携を発表した株式会社クレディセゾンとは、10月からクレディセゾン保証付き住宅ローン、11月からコラボレーションローンの共同提供を始めました。これら以外にも、当社によるセゾン支店の設立と同社による銀行代理業の取得、セゾン・ビジネス・プラチナカードの共同事業化などの検討を進めています。今後、同社との提携でより細かなローンニーズに応えるなど、様々な共同事業の可能性を探ってまいります。

スルガ銀行グループの役職員一同は、お客さまとの信頼関係をより一層深め、お客さまお一人おひとりの豊かな暮らしと、豊かな地域社会の実現に向け、ステークホルダーの皆さまから『あってよかった、出会えてよかった』と思われる存在を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、引続きの温かいご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月



中期経営計画 "Re:Start 2025 Phase2"

2023年度からの3年間を計画期間とする中期経営計画"Re:Start 2025 Phase2"についてご説明いたします。



第2フェーズのKPI			2025年度	
		2022年度 実績	計画	備考
メインKPI	経常利益	112億円	130億円	
	当期純利益(連結)	105億円	110億円	・親会社株主に帰属する当期純利益
	自己資本比率 (バーゼルIII最終化ベース)	11.39%	実質10%以上	・有価証券評価差額金が評価損である場合には、 当該評価損をコア資本より控除
サブKPI メインKPI 実現に向けた 重点取組指標	新事業粗利益	77億円	160億円以上	・2020年4月以降に実行した商品・サービスによる収益 ・コア業務粗利益(投資信託解約益は除く)ベース
	経費	362億円	325億円以内	
	実質与信費用比率	-5bps	15bps程度	・2025年度以降も見据えたフォワードルッキングな 巡航速度の水準 ・実質与信費用 ÷ 貸出金等平残 × 10,000

^{*「}連結」の記載のない項目は、スルガ銀行(単体)の計数・指標

"Neo Finance Solution Company"を目指して 株式会社クレディセゾンとの資本業務提携

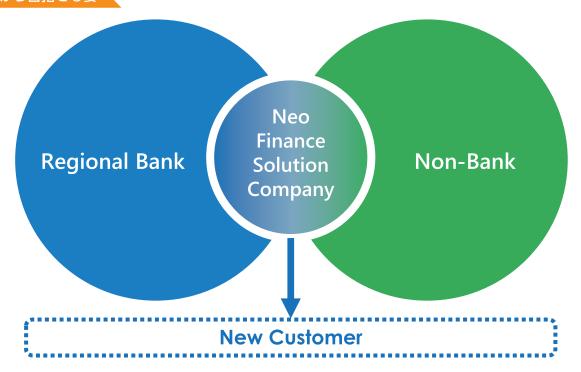
詳しい情報は こちら



概要

当社を取り巻く事業環境は、一般事業会社による銀行業への 参入など、旧来の銀行業界の枠に留まらない競争環境へ、また クレディセゾンにおいては、総合金融サービスを展開する競 合他社の増加など、多種多様なプレーヤーとの差別化が求め られる競争環境へと変化しています。このような事業環境の 変化を踏まえ、両社は業態の枠を超えたお客さま本位の新し いビジネスモデルを共創していくことが必要ではないかと考 えていました。銀行業態であるスルガ銀行とノンバンク業態であるクレディセゾン、業態は違えど、リテールビジネスに強みを持つという共通点があります。そのような両社が連携し、金融分野におけるあらゆる「困りごと」や「不」(不安、不便、不満等を意味します)の問題を解決する、"Neo Finance Solution Company"を目指すということで方向性が一致し、本年5月に資本業務提携を締結しました。

両社だから目指せる姿



資本業務提携の取組み

10月には住宅ローン事業、11月には不動産ファイナンスの共同展開をスタートし、今後も新たな商品開発と協業を進めてまいります。

2024年春(予定) 2023年5月 2023年7月 2023年11月 不動産ファイナンスの共同展開 セゾンプラチナビジネス 資本業務提携契約締結 第三者割当による AMEXカード共同事業化 自己株式の処分の [コラボレーションローン]の 払込完了 共同提供開始 契約締結 業務提携開始 2023年6月 2023年10月 住宅ローン事業における連携 株主総会の決議により取締役を相互に派遣 2024年夏(予定) スルガ銀行で「クレディセゾン スルガ銀行セゾン支店の (当社 加藤社長、クレディセゾン 髙橋副社長) 保証付住宅ローン」取扱いを開始 設立

トップライン指標である「コア業務粗利益」は、前年同期比20億円減少の295億円とな **POINT** りました。この減少は、前期実施した特別な子会社配当(17億円)が、今上期はなかった ことが主な理由です。この特殊要因を除くと、トップラインの減少速度は緩やかになってきており、中 期経営計画で掲げる「持続可能な収益構造の構築」は順調に進んでいます。また「経常利益」は、前年同 期比44億円減少の125億円となりました。この減少も、特殊要因(シェアハウス債権譲渡に伴う戻入 益)が前期までで終了し、今上期はなかったことが主な理由で、その他の経費削減は計画どおり進んで います。以上のとおり、特殊要因を除いて堅調な業況を踏まえ、年間配当予想を1株当たり14円へ前期 比増配としております。

コア業務粗利益*1 (投資信託解約損益を除く)



コア業務純益*2 (投資信託解約損益を除く)



経常利益/中間純利益



-株当たり年間配当金



自己資本※3/自己資本比率(国内基準)



預貸金粗利ざや/預貸金利ざや/総資金利ざや



- ※1:コア業務粗利益は、業務粗利益から国債等債券損益の影響を除いたもので、債券売買等の一時的な要因を除いた銀行の本業における粗利益を表しています。
 - 業務粗利益 = 資金利益 + 役務等取引利益 + その他業務利益 コア業務粗利益(投資信託解約損益を除く) =業務粗利益(投資信託解約損益を除く) 国債等債券損益
- ※2:コア業務純益は、コア業務粗利益から経費を除いたもので、銀行の本業における収益力を表しています。 コア業務純益(投資信託解約損益を除く) = コア業務粗利益(投資信託解約損益を除く) 経費
- ※3:自己資本は〈コア資本に係る基礎項目〉から〈コア資本に係る調整項目〉を控除して算出しております。当社の〈コア資本に係る基礎項目〉は資本金、資本剰余金、利益剰余金等と 般貸倒引当金により構成しております。

静岡県(56か店) 本店営業部 沼津市役所出張所 沼津駅支店 沼津港支店 沼津南支店 沼津セントラル支店 沼津岡宮支店 沼津青野支店 沼津原町支店 三島セントラル支店 三島支店 長泉支店 清水町支店 徳倉支店 函南支店 伊豆長岡支店 修善寺支店

御殿場駅支店 御殿場西支店 御殿場東支店 小山支店 裾野支店 富士吉原支店 富士支店 富士鷹岡支店 富士宮支店 清水支店 清水三保支店 清水高橋支店 興津支店 草薙支店 静岡支店 静岡県庁支店 静岡南支店 静岡東支店 中伊豆支店 焼津支店 熱海支店 岡部支店 熱海駅支店 藤枝支店 伊東支店 島田支店 伊東駅支店 金谷支店 2024年1月22日 榛原支店 伊東支店に統合予定 相良支店 下田支店 掛川支店 松崎支店

袋井支店 磐田支店 | 2023年11月13日 | 浜松支店に統合 | 浜松支店 浜松追分支店 浜松北支店 天竜支店 2024年2月5日 (浜松支店に統合予定) 神奈川県(35か店) 横浜支店 神奈川県庁出張所 横浜東口支店 横浜日吉支店 横浜戸塚支店 横浜弥牛台支店 横浜若葉台支店 横浜磯子支店 横浜六ツ川支店 横須賀支店 横須賀武山支店 久里浜支店

湘南ライフタウン支店

辻堂支店 茅ヶ崎支店 茅ヶ崎鶴が台支店 浜見平支店 平塚支店 厚木支店 厚木鳶尾支店 相模原支店 東林間支店 中央林間支店 海老名支店 秦野支店 小田原支店 小田原東支店 大井松田支店 南足柄支店 箱根支店 湯河原支店

東京都(4か店)

東京支店 ANA支店 Financial Center / 2023年12月29日 \ 閉鎖予定

渋谷支店 新宿支店

広域店(6か店) 札幌支店

大宮出張所 千葉出張所 名古屋支店 大阪支店 福岡支店

インターネット支店(10か店)

ANA支店 Tポイント支店 リクルート支店 Dバンク支店 ドリームダイレクト支店 ダイレクトワン支店 イービジネスダイレクト支店 タウンネットワーク支店 ハウジングローン支店 個人専用支店

銀行代理店舗網(1か店)

ソニー銀行株式会社 ローン営業部

ATMネットワークのご案内









Webサイトのご案内

スルガ銀行サイクリングプロジェクト

URL https://www.surugabank.co.jp/cycling/



三浦海岸支店

藤沢支店

鎌倉支店

湘南台支店

井伊部長の温泉グルメ探訪

URL https://onsen.surugabank.co.jp/



温泉を中心に地元のおすすめスポットをご紹介

地域貢献活動の一環として、静岡県・神奈川県(主に伊豆や箱根) の地元エリアの温泉施設や飲食店、観光スポットを紹介してお ります。今後も続々と新しいレポートを追加していきます。



自転車だからこそ発見できる地域の魅力

自治体・地元企業との協働による自転車での街めぐり企画、当社 のサイクルステーションを使用したライドイベント等を紹介し ております。



当社の概要 (2023年9月30日現在)

1895年(明治28年)10月19日 本 店 静岡県沼津市通横町23番地

国内 111

店舗数

静岡県内 56 神奈川県内 35 東京都内 4 北海道内 1 埼玉県内 1 千葉県内 1 愛知県内 1 大阪府内 1 福岡県内 1

インターネット支店 10

資本金 30,043百万円 預 金 32,595億円 貸出金 20,340億円

株式についてのご案内

決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

剰余金配当基準日

3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当) その他、当社が定めた基準日

公告の方法

電子公告といたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による 公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

連絡先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

日本証券代行株式会社 代理人部

0120-707-843

特別口座での手続用紙のご請求をインターネットでも受付いた しております。

https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元株式数について

当社の単元株式数は、100株であります。

お知らせ

(1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、ご相続、その 他諸手続について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取 扱いしております。

特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代 行株式会社へお問い合わせください。

(2)配当金の受取について

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持 ちください。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座 のある証券会社または特別口座の口座管理機関日本証券代 行株式会社へお問い合わせください。

- (3) 未受領の配当金の受取について 株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせく ださい。
- (4) 単元未満株式(100株未満の株式)の買取・買増請求について 一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取 扱いしております。

特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代 行株式会社へお問い合わせください。

- (5)特別口座から一般口座への振替申請手続について 特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合 わせください。
 - 注)特別口座のままでは市場において株式を売却することは できませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開 設されている場合は不要) し、特別口座から一般口座へ振 替申請を行ってください。

詳しい内容、お問い合わせは

アクセスセンター

0120-50-8689 月~金曜日(祝日を除く) 9:00~17:00

ホームページ

https://www.surugabank.co.jp

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下の緊急サポートセンターへご連絡ください。

スルガ銀行緊急サポートセンター TEL 055-987-8182 24時間365日(有人受付) 同時に最寄りの警察にもお届けください。

株主さまアンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、 アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、 アンケートへのご協力をお願いいたします。 (所要時間は5分程度です)

薄謝(QUOカードPay500円)を進呈いたします

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です

①以下のURLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



https://www.e-kabunushi.com

クセスコード



検索窓から いいかぶ





kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。





[e-株主リサーチ事務局] MAIL: info@e-kabunushi.com



本アンケートは、株式会社リンクコーポレイトコミュニケーションズの提供する [e-株主リサーチ]サービスにより実施いたします。 https://www.link-cc.co.jp

アンケートのお問い合わせ





〒410-8689 静岡県沼津市通横町23番地 TEL 055-962-0080 https://www.surugabank.co.jp





FSC®認証材および管理原材 料から作られています。

